



こ だ い ら

市議会だより



平成27年(2015年)7月26日 NO.224 発行/小平市議会 編集/広聴広報特別委員会
〒187-8701 東京都小平市小川町二丁目1333番地 TEL 042(346)9566
小平市議会ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>



竹トンボ、空まで飛ばせるかな(小平ふるさと村七夕飾りの前で)

**議員の寄附行為や
時候のあいさつ状は禁止されています**

議員は、選挙区内の人に、お金や物を贈ることや、時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことは法律で禁止されていますので、ご理解をお願いいたします。

4月の一般選挙後、初の臨時会を5月22日に開催し、議長・副議長を初めとした議会人事を決定しました。また、市長が提出した小平市監査委員の選任議案と3件の市長専決処分を同意・承認したほか、特別委員会の設置など5件の議員提出議案を可決しました。

6月9日から6月定例会を30日までの会期で開催し、人権擁護委員候補者の推薦など6件の市長提出議案を同意・可決したほか、出産に伴う議員の議会の欠席に関する規定を設ける小平市議会会議規則の一部改正など4件の議員提出議案を可決し、請願は4件のうち2件を採択、2件は継続審査としました。

また、6月10日、11日、12日には、25人の議員が市政全般について67件の一般質問を行いました。

5月臨時会・6月定例会

新しい議会がスタート

— 議会人事など決まる —

就任にあたって



副議長
滝口 幸一



議長
宮寺 賢一

市民の皆様には、日ごろから市議会に対しご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私たちは、去る5月22日に開催された臨時会において選任され、議長並びに副議長に就任いたしました。その職責の重さに身の引き締まる思いでございます。議長、副議長として、公正かつ円滑な議会運営にしっかりと努めてまいりる所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

さて、地方創生の時代を迎える中、今日の市民を取り巻く環境には、地域経済の活性化や人口減少・超高齢社会への対応など、重要課題が山積しております。

このような中、二元代表制の一翼を担う市議会として、市長を初めとする執行機関にとつてくみしやうい議会ではなく、手ごわい議会として、よい意味での緊張関係を保ちつつ、これらのさまざまな課題に向け積極的に取り組むことで、市民の生活の向上と福祉の充実が図れるものと確信しております。また、市民の多様な意見を的確に把握し、市政に反映していくために、より開かれた市議会を目指し、不断の議会改革を進めていくことを決意しているところでございます。

今後とも市民の皆様の負託に応えられるよう全力を尽くしてまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつとさせていただきます。

小平市監査委員に 浅倉 成樹 議員

議会選出の監査委員に、浅倉成樹議員を選任する議案について同意しました。

新議員の紹介

五十音順に左から右へ記載してあります。

＜委員会名の略称＞

総務＝総務委員会、生文＝生活文教委員会、厚生＝厚生委員会、

環建＝環境建設委員会

広聴広報＝広聴広報特別委員会、にぎわい＝にぎわいまちづくり調査特別委員会、

公共施設＝公共施設マネジメント調査特別委員会、

都市マス＝小平市都市計画マスタープラン全体構想特別委員会

議運＝議会運営委員会

（◎＝委員長、○＝副委員長）

写真

氏名（年齢は発行日現在）
当選回数 会派名
常任委員会・特別委員会等
住所
電話番号（事）は事務所

 あさくら しげき 浅倉 成樹 (63) ⑥ 市議会公明党 総務・議運(○) 学園東町1-3-11-402 ☎042-341-7850	 あまかわ ひろし 虻川 浩 (54) ③ 市議会公明党 厚生(○)・広聴広報(○)・にぎわい 美園町2-3-15-103 ☎042-348-0483	 いしげ こうたろう 石毛 航太郎 (34) ③ フォーラム小平 総務・にぎわい(○)・都市マス 花小金井1-29-9 ☎042-452-9091	 いそやま りょう 磯山 亮 (35) ② 政和会 厚生・都市マス・議運(○) 花小金井南町1-18-39-305 ☎042-452-7631	 いとう ひさし 伊藤 央 (45) ① 政和会 生文・広聴広報・公共施設 (事)学園東町1-15-5-1F ☎042-307-9054	 おの こういち 小野 高一 (67) ② 政和会 総務(○)・にぎわい 小川町2-1879-4 ☎042-343-8412	 かわさと はるじ 川里 春治 (68) ③ 政和会 総務・にぎわい(○)・都市マス 花小金井3-11-8 ☎042-461-8292
 きせ えみこ 吉瀬 恵美子 (53) ① 日本共産党小平市議団 厚生・にぎわい・都市マス 鈴木町2-229 ☎042-478-1133	 きむら まゆみ (63) ⑤ 日本共産党小平市議団 環建(○)・公共施設 津田町1-2-11 ☎042-344-4928	 こばやし ようこ (42) ② フォーラム小平 生文(○)・広聴広報・議運 鈴木町1-248 ☎042-341-5749	 さとう えつこ さとう 悦子 (50) ① 生活者ネットワーク 生文・にぎわい (事)学園西町2-15-2 CB-橋学園 ☎(事)042-342-4494	 さとう とおる 佐藤 徹 (56) ① 市議会公明党 厚生・にぎわい・都市マス 小川町1-800-36 ☎042-332-5883	 さとう みつる 佐藤 充 (63) ④ 日本共産党小平市議団 生文(○)・にぎわい・都市マス(○) 小川町2-1362-11 ☎042-343-0831	 さの いくお 佐野 郁夫 (59) ④ 政和会 生文・都市マス(○)・議運 小川西町2-26-21 ☎042-332-6300
 たきぐち こういち 滝口 幸一 (42) ③ フォーラム小平 副議長・環建(○)・公共施設(○) 学園西町3-1-22 ☎042-347-1060	 たけい ようこ (49) ① フォーラム小平 総務・広聴広報・にぎわい (事)美園町1-1-15 ☎(事)042-207-1232	 つもと ゆうこ 津本 裕子 (54) ④ 市議会公明党 総務(○)・公共施設・都市マス 花小金井南町1-17-11-110 ☎042-464-1126	 なか え 中江 みわ (35) ① フォーラム小平 厚生・公共施設・都市マス 学園東町1-10-16-101 ☎042-315-7475	 ながた まさひろ 永田 政弘 (69) ⑤ 政和会 環建・公共施設(○)・都市マス 天神町2-3-12 ☎090-2538-0263	 はしもと ひさお 橋本 久雄 (64) ⑤ 緑の党こだいら 環建・公共施設 学園西町1-22-15サントピア並木1F ☎042-348-1127	 ひなた みさこ 日向 美砂子 (53) ③ 生活者ネットワーク 環建・広聴広報(○)・公共施設 (事)学園西町2-15-2 CB-橋学園 ☎(事)042-342-4494
 ひらの ひろみ (56) ③ 生活者ネットワーク 厚生(○)・都市マス・議運 (事)学園西町2-15-2 CB-橋学園 ☎(事)042-342-4494	 ほそや ただし 細谷 正 (36) ② 日本共産党小平市議団 総務・広聴広報・議運 小川西町5-37-6 ☎042-345-0818	 まつおか あつし 松岡 篤 (30) ① 政和会 厚生・広聴広報・公共施設 学園西町1-16-10-204 ☎042-343-7520	 みやでら けんいち 宮寺 賢一 (71) ③ 政和会 議長 小川町1-265 ☎042-341-7964	 やまぎし まちこ 山岸 真知子 (56) ③ 市議会公明党 環建・都市マス・議運 たかの台19-7 ☎042-309-5355	 やぶた まさゆき 幸田 昌之 (47) ② 市議会公明党 生文・広聴広報・公共施設 学園西町1-37-4 ☎042-347-7480	 よしもと ゆうすけ (32) ① フォーラム小平 生文・にぎわい・都市マス 小川西町5-30-9-205 ☎042-315-9337

常任委員会

◎＝委員長
○＝副委員長

市の事務に関する調査及び議案・請願等の審査を行います。小平市議会では条例により四つの常任委員会を設置しています。各委員会の定数及び所管は次のとおりです。

■総務委員会（7人）

市の基本計画、広報、財政、財産管理、個人情報保護、情報公開、契約、職員給与、戸籍・住民記録、市税、公金の出納、広聴、市民相談などに関する事項

◎小野 高一 ○津本 裕子 浅倉 成樹
石毛航太郎 川里 春治 竹井ようこ
細谷 正

■厚生委員会（7人）

子育て支援、保育、生活支援、高齢者支援、介護保険、障害者支援、健康施策、国民健康保険などに関する事項

◎虻川 浩 ○平野ひろみ 磯山 亮
吉瀬恵美子 佐藤 徹 中江 みわ
松岡 篤

■生活文教委員会（7人）

防災、防犯、男女共同参画、地域センター、産業振興、文化施策、スポーツ振興、学校教育、生涯学習、公民館、図書館などに関する事項

◎小林 洋子 ○佐藤 充 伊藤 央
さとう悦子 佐野 郁夫 幸田 昌之
吉本ゆうすけ

■環境建設委員会（7人※欠員1人）

環境対策、ごみ・リサイクル、公園・用水、下水道、都市計画、公共交通、土地区画整理、道路、交通対策などに関する事項

◎木村まゆみ ○滝口 幸一 永田 政弘
橋本 久雄 日向美砂子 山岸真知子

議会運営委員会

◎＝委員長
○＝副委員長（7人）

議会運営に関する事項についての調査及び議案・請願等の審査を行います。

◎浅倉 成樹 ○磯山 亮 小林 洋子
佐野 郁夫 平野ひろみ 細谷 正
山岸真知子

特別委員会

◎＝委員長
○＝副委員長

常任委員会とは別に、特定事件を調査及び審査するための委員会です。各委員会の定数及び所管は次のとおりです。

■広聴広報特別委員会（8人）

①議会報告会の企画及び聴取した意見等の整理に関すること②議会報の編集及び発行方法に関すること③議会ホームページの充実に関すること④広聴及び広報活動の基本的事項の調査に関すること

◎日向美砂子 ○虻川 浩
伊藤 央 小林 洋子
竹井ようこ 細谷 正
松岡 篤 幸田 昌之

■にぎわいまちづくり調査特別委員会（10人）

①農工商業振興の基本的事項の調査に関すること②観光まちづくりの基本的事項の調査に関すること③公共交通の充実の基本的事項の調査に関すること

◎川里 春治 ○石毛航太郎
虻川 浩 小野 高一
吉瀬恵美子 さとう悦子
佐藤 徹 佐藤 充
竹井ようこ 吉本ゆうすけ

■公共施設マネジメント調査特別委員会（10人）

公共施設マネジメントの基本的事項の調査に関すること

◎永田 政弘 ○滝口 幸一
伊藤 央 木村まゆみ
津本 裕子 中江 みわ
橋本 久雄 日向美砂子
松岡 篤 幸田 昌之

■小平市都市計画マスタープラン全体構想特別委員会（13人）

小平市都市計画マスタープラン全体構想の改定に関すること

◎佐野 郁夫 ○佐藤 充
石毛航太郎 磯山 亮
川里 春治 吉瀬恵美子
佐藤 徹 津本 裕子
中江 みわ 永田 政弘
平野ひろみ 山岸真知子
吉本ゆうすけ

その他の 議会人事

一部事務組合等議会

◆昭和病院企業団議会

永田 政弘 山岸真知子

◆湖南衛生組合議会

川里 春治 中江 みわ

◆小平・村山・大和衛生組合議会

佐藤 充 竹井ようこ
平野ひろみ 幸田 昌之

◆東京都十一市競輪事業組合・
東京都四市競艇事業組合議会

佐野 郁夫 吉本ゆうすけ

◆東京たま広域資源循環組合議会

吉瀬恵美子

◆多摩六都科学館組合議会

磯山 亮 佐藤 徹

協議会等理事及び委員

○Ⅱ理事

■東京都三多摩地区消防運営協議会

宮寺 賢一

■三多摩上下水及び道路建設促進協議会

○宮寺 賢一

松岡 篤（第1委員会）

吉瀬恵美子（第2委員会）

小林 洋子（第3委員会）

■三鷹・立川間立体化複雑線促進協議会

○宮寺 賢一

■多摩川流域下水道促進協議会

宮寺 賢一

■野火止用水保全対策協議会

虻川 浩 木村まゆみ

さとう悦子

■東京河川改修促進連盟

○宮寺 賢一
■多摩地域都市モノレール等建設促進協議会
○宮寺 賢一 伊藤 央
■多摩北部都市広域行政圏協議会審議会
石毛航太郎 津本 裕子

■東京都市公平委員会関係団体協議会
宮寺 賢一

市長附属機関等委員

■都市計画審議会

小野 高一 木村まゆみ

佐野 郁夫 幸田 昌之

吉本ゆうすけ

■交通安全対策協議会

さとう悦子 佐藤 徹

竹井ようこ 松岡 篤

■土地開発公社社評議員会

小野 高一 木村まゆみ

虻川 浩 川里 春治

吉瀬恵美子 中江 みわ

日向美砂子

■公益財団法人小平市文化振興財団評議員会
小林 洋子

可決、同意または承認した
主な議案

専決処分（小平市税条例等の一部を改正する条例）

平成27年度税制改正に伴うもので、条例改正の根拠となる地方税法等の一部を改正する法律が平成27年3月31日に公布され、同年4月1日から施行されることに伴い、平成27年度の課税事務を進める必要から、平成27年3月31日付で市長専決により条例改正を行いました。

改正の主な内容は、①固定資産税の土地にかかる負担調整措置等について、現行の仕組みを3年間延長する、②都市計画税について、固定資産税の改正に合わせて所要の改正を行う、③軽自動車税の二輪車等に係る税率引き上げについて、適用開始を1年間延期し平成28年度分からとする、④法令の改正に伴う引用条項の整理を行うものです。

小平市青少年センターの廃止に伴い条例を廃止するものです。小平市青少年センターは、平成16年1月に小平元気村おがわ東に開設され、小・中学生、高校生の安全・安心、自由な居場所として利用されてきましたが、その後の類似の施設、事業の拡充の状況や、施設の有効活用を総合的に考慮した結果、平成27年度末をもって廃止するものです。

人権擁護委員候補者の推薦

法務大臣から委嘱されている人権擁護委員を次のとおり推薦することに同意しました。

人権擁護委員候補者
西角 昭氏

小平市青少年センターの廃止に伴い条例を廃止するものです。小平市青少年センターは、平成16年1月に小平元気村おがわ東に開設され、小・中学生、高校生の安全・安心、自由な居場所として利用されてきましたが、その後の類似の施設、事業の拡充の状況や、施設の有効活用を総合的に考慮した結果、平成27年度末をもって廃止するものです。

今後の市議会の日程（予定）

開会時刻：原則として午前9時 場所：市役所7階
傍聴される方は、議会事務局へお越しください。

日程、開会時刻は追加や変更になる場合もありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

8月4日(火)	広聴広報特別委員会
8月24日(月)	総務委員会 請願・陳情締め切り(午前中)
8月25日(火)	生活文教委員会(※1)
8月26日(水)	厚生委員会(※1)
8月27日(木)	環境建設委員会
9月1日(火)	広聴広報特別委員会
9月2日(水)	公共施設マネジメント調査特別委員会
9月3日(木)	議会運営委員会(※2)
9月8日(火)	9月定例会本会議(初日)
9月9日(水)	9月定例会本会議(一般質問)
9月10日(木)	9月定例会本会議(一般質問)
9月11日(金)	9月定例会本会議(一般質問)
9月14日(月)	総務委員会
9月15日(火)	生活文教委員会 請願・陳情締め切り(午前中)
9月16日(水)	厚生委員会
9月17日(木)	環境建設委員会
9月18日(金)	にぎわいまちづくり調査特別委員会
9月25日(金)	議会運営委員会(※2)
9月28日(月)	公共施設マネジメント調査特別委員会
9月30日(水)	9月定例会本会議(最終日)、広聴広報特別委員会(※2)
10月13日(火)	決算特別委員会(一般会計)
10月14日(水)	決算特別委員会(一般会計)
10月15日(木)	決算特別委員会(一般会計)
10月16日(金)	決算特別委員会(特別会計)
10月20日(火)	広聴広報特別委員会

(※1)当日は現地視察を予定しており、委員会室での議案や請願などの審査または調査はありません。

(※2)開始時間については、議会事務局にお問い合わせください。

5月臨時会

議案に対する各議員の賛否

会派名略称 政和：政和会(8) 公明：市議会公明党(6) フォ：フォーラム小平(6) 共産：日本共産党小平市議団(4) 生ネ：生活者ネットワーク(3) 緑：緑の党こだいら(1…無会派) ()内は各会派の議員数

○：賛成　×：反対　－：欠席			政和								公明					フォ					共産				生ネ		緑	賛 成	反 対	議決 結果					
区分	議案 番号	件名	小野 高一	磯山 亮	伊藤 央	川里 春治	佐野 郁夫	永田 政弘	松岡 篤	宮寺 賢一	津本 裕子	虻川 浩	山岸真知子	浅倉 成樹	佐藤 徹	幸田 昌之	滝口 幸一	小林 洋子	石毛航太郎	竹井ようこ	中江 みわ	吉本ゆうすけ	佐藤 充	木村まゆみ	吉瀬恵美子	細谷 正	日向美砂子				平野ひろみ	さとう悦子	橋本 久雄		
議員提出議案	第1号	小平市議会委員会条例の一部を改正する条例制定	○	○	○	○	○	○	○	※議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決	
	第2号	広聴広報特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決
	第3号	にぎわいまちづくり調査特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決
	第4号	公共施設マネジメント調査特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決
	第5号	小平市都市計画マスタープラン全体構想特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0
市長提出議案	第23号	専決処分（小平市税条例等の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○	※議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	承認
	第24号	専決処分（小平市国民健康保険条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	承認
	第25号	専決処分（小平市税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	承認
	第26号	小平市監査委員の選任同意	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	同意

※議長は表決に加わりません。

6月定例会

会派名略称 政和：政和会(8) 公明：市議会公明党(6) フォ：フォーラム小平(6) 共産：日本共産党小平市議団(4) 生ネ：生活者ネットワーク(3) 緑：緑の党こだいら(1…無会派) ()内は各会派の議員数

○：賛成　×：反対　－：欠席			政和								公明					フォ					共産				生ネ		緑	賛 成	反 対	議決 結果						
区分	議案 番号	件名	小野 高一	磯山 亮	伊藤 央	川里 春治	佐野 郁夫	永田 政弘	松岡 篤	宮寺 賢一	津本 裕子	虻川 浩	山岸真知子	浅倉 成樹	佐藤 徹	幸田 昌之	滝口 幸一	小林 洋子	石毛航太郎	竹井ようこ	中江 みわ	吉本ゆうすけ	佐藤 充	木村まゆみ	吉瀬恵美子	細谷 正	日向美砂子				平野ひろみ	さとう悦子	橋本 久雄			
議員提出議案	第6号	オスプレイの横田基地配備計画の撤回を求める意見書	×	×	×	×	×	×	×	※議長	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	13	原案可決		
	第7号	政府は沖縄県民の意思を真摯に受けとめ、辺野古新基地建設を中止することを求める意見書	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	13	原案可決	
	第8号	小平市議会会議規則の一部を改正する規則制定	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決
	第9号	今国会に提出された安全保障法制関連法案について議論を尽くすよう求める意見書	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14	13	原案可決
市長提出議案	第27号	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	※議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	同　意	
	第28号	小平市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決
	第29号	小平市青少年センター条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決
	第30号	小平市立学童クラブ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	26	1	原案可決		
	第31号	小平市国民健康保険条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決
	第32号	小平市消防団消防ポンプ自動車の買入れについて	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	0	原案可決

※議長は表決に加わりません。

市政を問う 一般質問

一般質問とは

議員が議案以外に市の行政全般にわたり、市長や教育長などに説明や報告を求め、また所信をただすことです。適正な行政運営を行う上で、その役割は重要です。ここでは、25人の議員からの質問のうち、1人3件までその要旨を掲載しました。

(政和)=政和会
(公明)=市議会公明党
(フォ)=フォーラム小平
(共産)=日本共産党小平市議団
(生ネ)=生活者ネットワーク
(緑)=緑の党こだいら

行政一般

市の「コミュニティバス及び放課後子ども教室の格差について

松岡 篤議員（政和） ①上水本町、御幸町、上水南町、回田町など公共交通機関が不十分な地域への拡充の予定は。

②中学校の放課後子ども教室についての今後の拡大計画は。

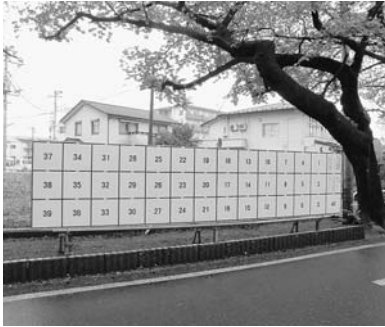
市長 ①新規路線設置の予定はないが、コミュニティタクシーを考える会が組織されている地域では、地域の利便性の向上について引き続き検討していく。教育長 ②現在4校で実施しており、来年度はさらに2校区での実施を計画している。今後、未実施の中学校の意向等を確認しながら拡充を検討していく。

小平市議会議員選挙での選挙管理委員会の役割について

蛇川 浩議員（公明） 選挙違反またはそれに抵触する行為に対する、選挙管理委員会と警察の対応と連携は。

選挙管理委員会事務局長 ポスターなどの文書図画の掲示の違反については、選挙管理委員会で確認し、注意しても従わない

▲公職選挙法に基づき設置されたポスター掲示場



場合には、警察に連絡を行った上で撤去命令を行い、それでも従わない場合には、警察が違法案件として取り扱うことになる。

それ以外の違反については、事前に相談があれば注意喚起を行うことは可能だが、既になされている場合は警察の対応となる。

広域連携、隣接市との連携の現状と今後の取り組みについて

佐野郁夫議員（政和） ①市民サービスを安定的、継続的に提供する方策として近隣市との広域的な連携が必要だが、全般的な広域行政のあり方への見解は。

②市長の約東48に「国分寺駅北口再開発ビル内に市の行政サービスの場を確保する検討をする」とあるが、進捗状況は。

市長 ①持続可能な行政サービスの提供のために、近隣自治体同士で互いに補い合うべき分野において、水平的・相互補完的・双務的な取り組みによる連携を進めていくべきものと考えている。

②現在、具体化に向けて国分寺市と調整、協議を進めている。

ぶんバスなど国分寺市との連携について

橋本久雄議員（緑） ①今後、検討する課題は何か。

②ぶんバス本多ルート延伸についての話し合いは。

市長 ①人口減少社会の到来など、昨今の社会情勢から連携すべき内容にはさまざまなものがある中で、引き続き多様な観点から連携の可能性について調整、協議を進めていく。

②利便性の低下等の課題があることから、具体的な検討には至っていないが、広域連携の必要性の認識は一致しているため、今後も情報交換等を行っていく。

人口ビジョン及びまちひとしと創生総合戦略について

日向美砂子議員（生ネ） ①人口ビジョンの基本的な考え方は。

②総合戦略において、市民意見公募や議会からの提案等により既存の事業を強化したり新たな事業を創設することは可能か。

市長 ①人口の現状分析及び市民の認識の共有を図るとともに、今後目指すべき方向と将来展望を提示し、まち・ひと・しごと創生の実現に向けて効果的な施策を企画する上で、重要な基礎になると考えている。

②推進委員会の開催、市民意見公募手続の実施、市議会への報告等を通じて、出された意見を踏まえて施策を検討していく。

マイナンバー制度について市民に十分な説明を

日向美砂子議員（生ネ） ①関係条例の改正や条例制定時には、市民への説明会の実施が必要ではないか。

②マイナンバー情報の民間活用について、市民を交えた検討の場が必要ではないか。

市長 ①市民意見公募手続を実施するほか、市報やホームページで周知を図っており、現時点で説明会の開催は考えていない。

②民間活用については、いわゆるマイナンバー法の施行状況等を見ながら国が検討するとされているため、その動向を注視していく。

▲マイナンバー制度啓発ポスター



市報の紙面をふやすことについて

吉本ゆうすけ議員（フォ） ①広告の掲載面も含めて、ページ数をふやす検討をしようか。

②介護保険制度の変更に伴い、地域団体等の活動の広報に力を入れる必要があると考えるが、国の地域支援事業交付金を活用して紙面をふやしてはどうか。

市長 ①他市の事例を参考にすると、紙面をふやすことに伴う経費が、広告収入を大きく上回るようになるため、現在は紙面をふやす考えはない。

②介護保険制度の各種事業等の効果的な周知等に引き続き努めていくとともに、交付金の活用については工夫を図っていく。

未来を担う市職員の育成について

磯山 亮議員（政和） ①行政需要の複雑高度化への対応や経営感覚を身につけるため大学院や民間へ職員を派遣すべきでは。

②職員の海外研修の実施を再開する必要があるが、見解は。

市長 ①派遣の必要性や業務への影響、特に民間派遣については、営利活動に職員が従事することの妥当性等も考慮しながら、可能性を検討していく。

この妥当性等も考慮しながら、可能性を検討していく。

②現在、体系的な職員研修の実施により、職員の資質向上に努めており、海外研修実施の再開は職員研修全体の内容等を考慮しつつ検討していく。

社会保障・税番号制度導入への小平市の対応について

永田政弘議員（政和） ①市独自の取り組みは考えられるか。

②各種団体、各事業者への説明会は考えているか。

③最終目標はどうか。

市長 ①現在、市民の利便性の向上等の観点から、どのような行政サービスに利用できるか、庁内委員会等で検討している。

②現在、関係機関と連携した事業者向け説明会の実施に向けて調整を行っている。

③国は行政の効率化、国民の利便性向上等をうたっており、市としても着実にその実現に向けた取り組みを行っている。

投票困難者の政治参加を保障するための施策を

木村まゆみ議員（共産） ①期日前投票も含めて投票所をふやしてほしい、近くの投票所に行きたいという市民の願いに応えるべきと考えるが、どうか。

②一日だけ投票のための巡回バスを走らせることはできるか。

選挙管理委員会事務局長 ①財源的な問題もあるが、職員をこれ以上配置することが現時点において非常に困難なことから、現状の範囲の中で対応していく。

②投票所まで徒歩圏内であるため、財政的な課題の観点から現時点では考えていない。

特別職の退職手当について

伊藤 央議員（政和） 市長はかつて退職金の20%減を公約に当選している。現在でも特別職の退職手当は高額だが、さらなる減額や廃止は考えているか。

市長 任期1期目に係る退職手当は条例を定め、20%減額した。現在の任期に係る退職手当は、前回の任期2期目と同様に特に減額する考えはない。退職手当の廃止についても、ほかの団体との均衡等を踏まえ、総合的に判断し、現行の制度を変更することは考えていない。

若者応援施策の検討について

細谷 正議員（共産） 若者の雇用や就労にかかわる都の制度をどのように活用するのか。また、市独自の応援施策の検討は。

市長 若者の正規雇用化を支援するための東京都若者応援宣言企業採用奨励金制度等がある中で、市としても事業の周知に努めていく。現在、国や都を中心として事業が行われており、市独自の取り組みは検討していないが、今後もハローワーク立川や東京しごとセンター多摩などとの連携をさらに深めていく。

ICTを活用した市民協働の取り組みについて

竹井ようこ議員（フォ） ①市民と双方向にコミュニケーションがとれるICTツールの計画はあるか。

②千葉市のちばレポのような市民協働を目的としたICTツールへの所見と導入の意向は。

公園用水

地域「コミュニティ」の中心になる魅力ある公園づくりのために

山岸真知子議員（公明） ①公園に対するニーズは地域によってさまざまだが、地域の声を市はどのように受けとめているか。

②公園の大規模リニューアルの計画はあるか。

市長 ①同じ地域の中でもさまざまな考え方があり、可能な限り地域の実情を反映できるように、ニーズの把握について今後も努力していく。

②本年度、仲町第2公園では休憩機能の強化とバリアフリー改修を、たけのこ公園では複合遊具の更新を予定している。



更新予定の複合遊具（たけのこ公園）

防災防犯

市民が安心して生活できるための防犯対策について

空き家の適正管理について

川里春治議員（政和） ①空き家の数と現状での予測はどうか。 ②倒壊のおそれのある空き家に対し、どう対応するのか。

市長 ①平成24年度に実施した実態調査の結果、木造が541件、非木造が4件の合計545件である。

幸田昌之議員（公明） ①今年度から小学校通学路に設置が予定されている防犯カメラ及びその情報の管理責任者は。また、地域説明会は各学校での実施か。

②他自治体が制定している安全・安心まちづくり条例のような条例が必要と考えるが見解は。

教育長 ①教育施設に設置している場合と同様に、教育委員会の担当課長を充てることとする。

本年度の地域への説明会は、設置対象の各小学校を会場にして、7月に開催する予定である。

市長 ②都の条例があることから、条例の制定は考えていない。

地域の防災、防火の取り組みについて

川里春治議員（政和） ①自治会と連携した取り組みはあるか。

②自治会単位で行う地域防災訓練などは考えられないか。

市長 ①自治会の防災訓練で使用する資機材の提供や地域で行う防災対策への助言、デリバリ

ーこだいらを活用した防災意識の啓発など、自治会と連携して防災、防火に取り組んでいる。

②自治会からの要請に基づき、小平消防署と連携して訓練内容や方法について助言等を行うなど、自治会が実施する訓練の支援を行っている。

市が締結している災害協定の件数と主な内容は。

②教育としての防災、減災を学校ではどう伝えているか。

市長 ①狭山市や小平警察署など公的機関と12件、小平市医師会や食品製造業者などの民間団体と72件の協定を締結しており、食料・飲料水の供給、応急救護活動等が主な内容である。

教育長 ②都が発行する防災教育副読本を授業や道徳の時間に活用するとともに、避難訓練の実施前後に防災への関心を高め、訓練の意義を理解する指導を実施するなどしている。

福祉

改定介護保険法のもとでも要支援1、2の方のケアの保障を

木村まゆみ議員（共産） ①介護予防・日常生活支援総合事業の「多様なサービス」の担い手の準備について、進捗状況は。

②総合事業への移行後も平成26年度段階の予防給付単価を保障すべきと考えるが、どうか。

市長 ①本年9月から11月に、住民主体や各種ボランティア等の団体向けに説明会などを開催していく。その後に、総合事業への参加に興味のある団体向けのアンケートや、協議体への参加を募る説明会などを実施する。

②予防給付単価については本年度からの改正後の介護報酬を基準として実施する。

認知症サポーターの養成状況について

中江みわ議員（フオ） ①小中学生に対する認知症サポーター養成講座の取り組みは。

②認知症サポーターに対するフォロー体制は。

①養成講座の取り組みは。

市長 ①直近では3月に校長会

議で講座の実施の協力を依頼している。昨年度は学園東小学校の4年生を対象に1回実施した。

②養成講座のみでは、生活の中で実際に認知症の人にかかわってもらうことが難しいため、講座を受講した人のうち、希望者に昨年度から実施しているフ

ォローアップ研修等の認知症に関する講座を案内している。

特別養護老人ホームを新設するべきである

滝口幸一議員（フオ） ①地域包括ケア推進計画の特別養護老人ホームの整備目標は適切か。

②事業者の応募がないため、特養を建設できないケースが相次いでいるが対策は。

市長 ①待機者のうち、重度要介護者で在宅の人数をもとに、1か所で定員100人程度の整備を目標としている。

②地域包括ケア推進計画に明確な整備目標を示すなどの対応により、市の整備意向を明らかにしながら、国や都の整備に係る各種補助制度の情報を提供し、整備促進を図っていく。

磁気ループを積極的に知らせ、聞こえのバリアフリーを広めよう

吉瀬恵美子議員（共産） なかまちテラスとルネこだいらのカウンターに磁気ループの国際統一マークを設置し、利用案内をしてはどうか。

教育長 なかまちテラスでは磁気ループを備えていることがわかるように設置を検討していく。



磁気ループの国際統一マーク

市長 ルネこだいらでは、楽器演奏等に磁気ループシステムが適していないことから、全ての公演で利用できるとの誤解を招かないよう、利用案内の表示は現在考えていないと聞いている。

特別養護老人ホームの一層の整備について

細谷 正議員（共産） ①特別養護老人ホームの整備目標と根拠となる実態をどう捉えるか。

②地域別の高齢化率の分析を施設整備に役立てるべきでは。

市長 ①29年度までに1か所で定員100人程度を整備目標としている。根拠としては、市が調査した待機者のうち、入所の必要性が高い重度要介護者で、在宅の人数をもとにしている。

②効果的な施設整備への一つの指標となるが、用地の確保や運営事業者等の意向なども関係するため、整備目標の達成に向けては、幅広く運営事業者を募集する必要があると考える。

高齢者虐待の防止に向けて

平野ひろみ議員（生ネ） 高齢者や介護者等が早期にSOSを出せるよう支援するための今後の対応は。

市長 虐待の早期防止のため、

特に通報者として期待される民生委員児童委員や自治会等に、虐待に関する理解や協力を深めてもらうための普及啓発やネットワークづくりが必要と考えている。研修会や講演会等の開催を初め、見守りネットワークの整備等の取り組みの機会を通じて虐待の早期発見、防止のための普及啓発に努めていく。

産業暮らし

市の地域活性化と観光行政の考え方について

松岡 篤議員（政和） ①観光事業に対する基本的理念は。

②観光事業における定量的な目標値がない点への考えは。

③駅と観光行政をどのように連動していくのか。

市長 ①観光まちづくり振興プランにおいて「訪れたい、住みたい」という観光まちづくりの実現を基本理念としている。

②経済効果等の定量的な目標値は今後研究していく。

③本年、都の事業で駅を起点としたスタンプラリーが開催された。この成果も参考としつつ、駅周辺の商店とも連携しながら観光まちづくりを進めていく。

都市農業振興基本法成立による市内農業の取り組みについて

小野高一議員（政和） ①この法律で地域の状況に応じた施策の策定等が市の責務とされたが、その重要性への市の考え方は。

②都市農業の担い手の育成及び確保について市の考えは。

市長 ①都市農業基本構想の基本理念である「市民とともにつくる農のある快適なまちこだい

ら」の実現に向け、引き続き農業振興施策の展開を図っていく。

②市の農業の中核を担う認定農業者の育成及び拡大を図るとともに、さまざまな農業振興施策により農業所得の向上と農業経営の安定を図っていく。

小平の農業をもっと立てるために

さとう悦子議員（生ネ） ①農業と福祉との連携で、療育や介護予防、就労に結びつけることが期待されるが、見解は。

②農業者と消費者をもっと近づけるために市ができることは。

市長 ①福祉作業所等に通所している人が市内の農家で農作業を手伝うなどの連携を行っている。引き続き、農家と障害者等の連携の可能性を探っていく。

②交流の場づくりなどへの支援等を行っており、これらの取り組みにより消費者である市民の農業への理解が深まり、市の農業が活性化していくと考える。

空き家の活用で所有者にも地域にもメリットを

日向美砂子議員（生ネ） ①空き家等の適正な管理に関する条例に有効活用 of 条項を加え、市の事業等で利用してはどうか。

②公共施設の更新や新設にかわり、空き家や空き店舗等を活用していく考えはあるか。

市長 ①今後、他市の動向等も参考にしながら検討していく。②空き家の活用はコミュニケーションの小さな拠点としては有効であるが、公共施設の代替としては一定程度の床面積と適正な維持管理が必要となることから現時点では活用する考えはない。

市内産業の活性化と条例制定について

佐藤 充議員（共産） ①これまで産業振興施策の方針としては商業振興基本計画、第二次都市農業基本構想等があるが、新たな計画策定の見通しは。

②中小企業振興条例または産業振興条例の制定の検討状況は。

市長 ①これまで分野ごとに計画を策定してきたが、社会環境等が変化しており、今後は商業、工業、農業、観光のそれぞれの関連を視野に入れながら、検討する必要があると考えている。

②産業振興計画を中心に検討していく。条例の制定は、このような検討を進める段階を捉え、引き続き研究していく。

小平駅周辺をすてきな空間にするために

竹井ようこ議員（フオ） ①期間限定のカフェやマルシェなどの出店場所として、ルネこだいら前の広場を活用できないか。

②グリーンロードの中央に位置する駅としてPRが必要だが、観光案内所機能や観光ポータルサイトの作成等の進捗状況は。

市長 ①駅前の店舗や商店街を考慮するなどして、東京むさし農業協同組合や商工会等とも連携を図りながら研究していく。

②観光まちづくり連絡会が主体となつて事業を行うことから、連絡会設立後に具体的な調整が行われることとなる。

子ども女性

換を密に行いながら連携を図っていく。

就学前教育を充実させる連携について

保育園待機児童や保護者のニーズにどのように対応していくか

川里春治議員（政和） ①小規模保育についての市の考えは。

②公立保育園について、保護者のニーズに合った新しい取り組みをすべきだが、市の考えは。

市長 ①ゼロ、1、2歳児の待機児童解消に寄与するものとして、先行する自治体の例も参考にしながら、モデルとなるべき施設の設置を検討していく。

②今後も利用者のニーズに沿えるよう、適切な保育サービスの提供に努めるとともに、培ってきた保育の質をさらに充実させ、私立保育園とも連携しながら保育の質の向上に努めていく。

保育園の待機児童対策の課題について

幸田昌之議員（公明） ①今年度から実施している利用者支援事業の今後の展開は。

②私立幼稚園協会とのさらなる連携、情報交換が必要では。

市長 ①教育・保育施設に入園できなかった人へのアフターフォローの業務に取り組むとともに、教育・保育サービスの情報提供のみならず、より広範な子育てに関する情報提供と適切な案内ができるよう努めていく。

②認可保育園等からの幼稚園への受け入れに関する協議等を行っており、引き続き、情報交

に余裕ができてきたときの市立保育園及び私立認可保育園の今後をどう考えているか。

②待機児童解消の一つとして、積極的な在宅子育てを選択するためのさらなる支援が必要では。

市長 ①将来的には定員設定の変更など、施設運営の見直しも視野に入れていくことが必要と考えている。

②地域子ども・子育て支援事業を中心に在宅の子育て家庭が安心して生き生きとした生活が送れるよう事業計画に沿った支援の拡充を推進していく。

保育園待機児童の状況と今後の対応について

滝口幸一議員（フオ） ①待機せざるを得ない保護者の状況は。

②今後の待機児童対策は。

市長 ①アンケート調査によると、待機児童を抱えている常勤者の世帯は、いずれも3月までは育児休業の取得中であつたことから、多くは育児休業を継続していると推測している。

②子ども・子育て支援事業計画の確保方策に沿って、主に認可保育所や幼保連携型認定こども園等の整備により、本年度から29年度末までの3か年でゼロ、1、2歳児を中心とした待機児童の解消に努めていく。

ゼロ、1、2歳の居場所づくりとして子ども広場等の拡充を

小林洋子議員（フオ） ①子ども広場について、開催場所をふやすなどの検討はしているか。

②密室育児とならないよう市が行っている育児支援はあるか。

市長 ①ニーズの把握に努め、子ども・子育て審議会の意見も

きめ細やかな子育て支援施策の充実について

磯山 亮議員（政和） ①人口が減っていく段階に入り、定員



子ども広場の様子（上水本町地域センター）

聞きながら検討していく。

②乳児家庭全戸訪問事業を実施しているほか、育児不安が強いといった支援が必要な家庭には、子ども家庭支援センターや保健師が継続してかわるとともに、必要に応じて育児支援ヘルパー派遣等の在宅サービスを提供し、虐待防止を図っている。

市長 ①アンケート調査によると、待機児童を抱えている常勤者の世帯は、いずれも3月までは育児休業の取得中であつたことから、多くは育児休業を継続していると推測している。

②子ども・子育て支援事業計画の確保方策に沿って、主に認可保育所や幼保連携型認定こども園等の整備により、本年度から29年度末までの3か年でゼロ、1、2歳児を中心とした待機児童の解消に努めていく。

ゼロ、1、2歳の居場所づくりとして子ども広場等の拡充を

小林洋子議員（フオ） ①子ども広場について、開催場所をふやすなどの検討はしているか。

②密室育児とならないよう市が行っている育児支援はあるか。

市長 ①ニーズの把握に努め、子ども・子育て審議会の意見も

道路交通

小平都市計画道路3・4・23号線開通時の交通対策について

佐藤 徹議員（公明） ①玉川上水通りと3・4・23号線の交差点には開通時から信号機の設置が必須と考えるが、見解は。

②開通に伴う、十二小通りの交通安全対策は。

市長 ①交通管理者による現地調査を行い、横断歩道の設置にあわせて、信号機も設置する方向で協議を進めている。

②車道の拡幅にあわせて新た

に両側に幅3・5メートルの歩道が新設されることから、歩行者等を中心とした安全性の向上が期待できるものと認識している。

B 地域に早期に公共交通の導入をすべき

佐藤 徹議員（公明） ①コミュニティタクシーの運行について、市南西のB地域が実証実験運行に至らなかった要因は何か。

②中島町、上水新町の運行実現へ向けた課題は。

市長 ①検討組織が立ち上がるのが前提であり、さらに地域全体に地域の人々が主体となつて運行していくという機運を広げていく必要があることから、実証実験運行に至っていない。

②狭隘な道路が多いことなどの課題があると認識している。

地域の課題については、コミュニティタクシーを考える会で検討がされるものと考えている。

鈴木中通りの万年塀を撤去改善し安心・安全の生活道路にせよ

吉瀬恵美子議員（共産） ①鈴木中通りに面した万年塀の危険性については事業所に対し改善の協力を呼びかけていくとのことだったが、その後の経過は。

▲鈴木中通りに面した万年塀



②鈴木中通りに対する認識は。

市長 ①平成25年に小金井カントリイ倶楽部に万年塀の改修について理解、協力をお願いしている。現状として、万年塀の高さが2メートルを超える箇所が一部あることから、再度、改修についてお願いしていく。

②近隣住民の生活に密接に結びついた道路と認識しており、歩道の段差を解消する整備工事等を計画的に実施していく。

コミュニティタクシーの南東部地域の運行ルートを拡充せよ

吉瀬恵美子議員（共産） ①試行運行が開始された鈴木町ルート

の運行実績の評価は。

②花小金井南町ルートなど今後のルート拡充の方向性は。

市長 ①ほかのコミュニティタクシー試行運行開始時の乗車人数と比較しても遜色のない利用状況であり、一定の評価ができるものと判断している。

②現時点では困難と考えているが、運行地域については運行開始後もコミュニティタクシーを考える会においてルート変更も含めた運行システムの改善等を検討しており、南東部地域についても引き続き検討していく。

鷹の台駅周辺や学園坂商店街などの道路整備について

山岸真知子議員（公明） ①鷹の台駅周辺の路面整備の必要性の認識と今後の整備計画は。

②学園坂商店街の道路整備について、今後の予定は。

市長 ①舗装面のひび割れや段差の解消等の整備の必要性は認識している。計画については未定だが、商店街や近隣住民の意

見を伺いながら検討していく。

②住民からひび割れ等の対応の要望を受け、商店会に相談したところ、整備することの同意を昨年度もらえたため、今後、必要な手続を踏まえながら、計画的に実施していく。

市内の生活道路整備の状況について

細谷 正議員（共産） ①小川駅北側踏切と中宿通りの踏切横断及び小川駅南側踏切と二中通りの踏切横断の安全対策は。

②ガードパイプや歩道のくぼみの補修の優先順位はどうか。

市長 ①鉄道事業者が白線で区分しカラー舗装している踏切内の歩道に当たる部分に、市道の路側帯や歩道から誘導すること

で、歩行者等の通行を確保している。また、接続する市道の安全対策として、路側帯内をカラー舗装にしている。

②歩道の利用状況や施設の老朽化、損傷の程度等を考慮しながら設定している。

公共施設

なかまちテラスと市の公共施設マネジメントの展望について

松岡 篤議員（政和） ①なかまちテラスの施策に関して、来場者数や利用者満足度指数等の定量的な目標値はあるか。

②公共施設の更新費用に関する現段階での方向性は。

教育長 ①特に数値的な目標は

設定していないが、満足度、認知度、集客力を高めるさまざまな工夫をしている。

市長 ②全ての施設を現在と同様に更新する費用を賄うことは極めて難しいため、最適な施設配置などを通して持続可能で安全な公共施設とする必要がある。

学校体育館、校庭のスポーツ開放について

虹川 浩議員（公明） ①団体開放について小学校が全19校なのに中学校が1校なのはなぜか。

②開放日、時間帯はどのように決めているのか。

市長 ①中学校については、部活動で体育館や校庭を使用していることから原則として開放していない。第一中学校については、地域開放型の機能を有した体育館を整備したこと

から、開放校として位置づけている。

②学校長の意見を聞き、学校教育に支障のない範囲で団体開放等の種類に応じて定めている。

学校を含めた子どもたちが使用する場所の環境について

小林洋子議員（フオ） ①季節によつては校庭の砂ぼこりがひどいことがあるが、校庭へのスプリンクラー導入の検討は。

②市が所有するグラウンドについて人工芝のサッカーグラウンドを整備することは可能か。

教育長 ①各学校に手動式の散水設備があり、必要に応じて使用している。自動式のものについては今後の課題と捉えている。

市長 ②グラウンドによつて特性や目的が異なることから、利用団体のニーズを把握し、調整を図りながら研究していく。

教育文化

子どもたちに優しいスポーツ環境を整えていくために

吉本ゆうすけ議員（フオ） 小平第十三小学校のグラウンドを芝生化したことでより生じたデメリットへの対応をとる必要があると考えるが、見解は。

教育長 校庭が土だった時と同様に、体育の授業や学校行事を行っている。校庭の使用頻度が少ない時期に芝生の養生を行うなど、今後も教育活動に支障がないよう工夫していく。

市長 グラウンドを利用している団体からは、近年、デメリツトや不都合が生じているとの意見は受けていない。

小平市の教育におけるグローバル人材育成について

竹井ようこ議員（フオ） ①子どもの海外派遣等について、実施の実績や予定はあるか。
②都立小平高校が都のグローバル人材育成を推進する東京グローバル10に指定されたが、連携した取り組みの予定はあるか。
教育長 ①海外派遣の実績及び今後の予定はない。

②現在、グローバル人材の育成に特化した連携の予定はないが、都立高校の外国語指導員を小学校に派遣して、児童が外国語活動の成果を確認する活動を行っている。今後も都立高校との連携のあり方を検討していく。

小・中学校の少人数学級推進のために力をつくそう

佐藤 充議員（共産） ①35人以下の少人数学級の取り組みの現状と効果は。

②独自に少人数学級を進める上での問題点は。

教育長 ①小学校第1、第2学年、中学校第1学年で少人数学級を実施している。効果としては、きめ細かな指導、児童・生徒の発言や発表の機会がふえることによる授業の活性化等が挙げられる。

②教員の独自採用等の人的、財政的な課題や、学級数の増に伴う教室の確保等の課題がある。

強化された特別支援教育支援員の力を存分に生かそう

木村まゆみ議員（共産） ①特別支援教育支援員の身分を嘱託職員にすることはできないか。

②特別支援学級も含めて、特定の必要なクラスに、1年単位で配置することはできないか。

教育長 ①嘱託職員とした場合は、多くの学校から同時期に配置を要請されたときに対応できないことが予想されるため、必要な時期に学校が配置する現在の勤務条件が適当と捉えている。

②それぞれの児童・生徒や学級の状況に十分配慮しながら、継続的な観察を行う中で配置期間を検討していく。

改正地方教育行政法の施行後の取り組みなどについて

伊藤 央議員（政和） ①教育委員長と教育長を一本化した新教育長を任命するとされているが、どのように対処するのか。

②教育基本法に規定されている教育の目標を達成するための教科書採択における取り組みは。

市長 ①現在の教育長の教育委員としての任期満了後は地方公共団体の長が議会の同意を得て教育長を任命することとなる。

教育長 ②教科用図書の編集の趣旨や基本方針をまとめている編集趣意書を踏まえて調査、研究を行い、教育基本法の目的、目標はもちろんのこと、市の学校現場の状況等を鑑み、公正かつ適正な採択を行っている。

環境下水道

不幸な猫を減らすために市は地域猫活動を進めるべき

幸田昌之議員（公明） ①地域猫活動に取り組んでいるボランティアとの定期的な連携の場と窓口が必要と考えるが見解は。

②今後、市が進める地域猫や飼い主のいない猫対策はあるか。

市長 ①必要に応じ、さまざまな情報の提供や意見交換の機会を設けるなどの支援をしていく。

②引き続き、猫の適正な飼育方法等の周知と啓発を行うほか、その他の効果的な啓発方法も検討していく。また、市内の地域猫活動を行う市民のネットワークづくりの支援を行っていく。

市で実施すべき野良猫や野生鳥獣対策について

佐野郁夫議員（政和） ①野良猫を減らすため避妊や去勢費用

を補助する制度ができないか。
②野良猫や野生鳥獣への無責任な餌やりを防止するなどの条例を制定する考えはないか。

市長 ①獣医師会の理解と連携が必要となるので、まずは、地域猫活動への幅広いネットワークづくりの支援を行っていく。

②無責任な餌やりなどがある場合には職員が現地に向向き、適切な餌やりをお願いしている。今後とも、これらの取り組みを継続するとともに適正な飼育の普及啓発にも力を入れていく。

ごみ減量推進と家庭ごみの戸別収集、有料化について

佐野郁夫議員（政和） ①一般廃棄物処理基本計画のとおり平成31年に有料化、戸別収集へ移行すると理解してよい。

②近隣市から集積所に持ち込まれた家庭ごみへの市の対応は。

市長 ①3市共同資源物処理施設の稼働と全量容器包装プラスチックの資源化とともに31年度の実施をめどに検討、準備を進めている。

②他市から持ち込まれたことが明らかな場合は職員が現物を確認し、状況に応じて排出者への指導等を図ることとなる。

ごみの資源化、有料化及びごみ焼却施設の建てかえについて

橋本久雄議員（緑） 3市共同資源物処理施設、不燃・粗大ごみ処理施設、ごみ焼却施設の整備の今後の一体的な計画は。

市長 3市共同資源化事業基本構想では、3市共同資源物処理施設は平成29年度に着手し、30年度に竣工、不燃・粗大ごみ処理施設は、30年度に着手し、31

年度に竣工する予定である。ごみ焼却施設は、早急に施設更新の事務手続に着手する必要がある、小平・村山・大和衛生組合において、2つの施設の更新事業と連携し、今後の更新の方向についての提案図書の作成を行う予定である。

小平からエネルギーシフトをすめよう

さとう悦子議員（生え） ①個人住宅用の太陽光発電の導入目標と昨年度の実績は。

②今後は太陽熱の利用も進めるべきだが、市の見解は。

市長 ①市民への太陽光発電システム機器の設置費用の助成件数の目標を平成33年度までに2千件としている。昨年度の実績は133件、19年度からの累計は897件で、進捗率は約45%である。

②重要なエネルギー資源と認識している。さまざまな再生可能エネルギーを特性等に応じて活用していくことは地球温暖化対策のために有効と考えている。

分けて資源、もつたないをさらに進めよう

平野ひろみ議員（生え） ごみと資源の出し方について、これからの分別の周知と回収方法、課題は。

市長 平成26年11月の分別変更にあわせ、更新したパンフレットの全戸配布を行った。引き続き、さまざまな媒体を活用し周知に努めていく。回収方法については、今後、戸別収集への移行を検討していく。課題としては、ごみと資源の分別の徹底を図ることのほか、3市共同資源物処理施設の稼働による安定し

た処理体制を確保しつつ、全量容器包装プラスチックの資源化を実施することなどがある。

栄町のごみ集積所について

吉本ゆうすけ議員（フオ） ①栄町のごみ集積所だけほかの地域と違う形をしている理由は。

②栄町地域に新しいごみ集積所を設置する場合、現状と違う形は検討していないのか。

市長 ①本集積所は栄町土地区画整理組合から寄附を受けたもので、明確な記録はないが、ごみ置き場と隣接した人への配慮等から決めたものと聞いている。

②新たなごみ集積所を設置する予定はないが、開発行為等により事業主が新たに設ける場合は、協議の上、集積所標準構造図に基づき設置することになる。

花小金井駅近辺のマナー向上とグリーンロードの活用について

津本裕子議員（公明） ①花小金井駅南口の2か所の喫煙場所は、通勤通学等の動線上から移設すべきでは。

②グリーンロードの発展のため、商業と連携させ、快適な空間を演出することが必要では。

市長 ①現時点では適当な移設

現在進行中の第三次事業化計画の期間内に着手することは難しいと考えている。次の計画で着実に事業化を目指していく。

②駅前広場は、再開発事業の検討の中で具体化されることが理想的と考えている。都市計画道路の東京街道以北は、再開発事業の検討状況も注視しながら事業化を目指していく。

安全なまちづくりを進めるために何が必要か

津本裕子議員（公明） ①鈴木街道と鈴木地域センター通りの交差点に信号や横断歩道を設置すべきと考えるがどうか。

②道路の管理が都と市に分かれる場合、整備計画をそろえるなどの工夫が必要だが方針は。

市長 ①同交差点に近接する東西の交差点にそれぞれ信号機が設置されていることから現状では難しいと考えているが、引き続き小平警察署に要望していく。

②安全で快適に利用できる道路となるよう、引き続き、都と道路の整備計画や地域課題に関する情報の共有等に努めていく。

掲載分以外の質問項目

【産業・暮らし】

○市の魅力である農地をもっと活用しよう

【子ども・女性】

○少子化に関する市の認識を問う

【福祉】

○高齢者を孤独にしないまちづくりについて
○地域の見守り情報をつかむ見守りホットラインを開設せよ

会派の構成

会派は、政策を中心とした理念を共有する議員で構成されています。小平市議会では、議会基本条例第4条で議会活動を行うため、会派を結成することができます。2人以上の議員をもって会派を構成することができます。

○＝幹事長

政和会（8人）

○小野 高一 磯山 亮 伊藤 央
川里 春治 佐野 郁夫 永田 政弘
松岡 篤 宮寺 賢一

フォーラム小平（6人）

○滝口 幸一 石毛航太郎 小林 洋子
竹井ようこ 中江 みわ 吉本ゆうすけ

生活者ネットワーク（3人）

○日向美砂子 さとう悦子 平野ひろみ

市議会公明党（6人）

○津本 裕子 浅倉 成樹 蛇川 浩
佐藤 徹 山岸真知子 幸田 昌之

日本共産党小平市議団（4人）

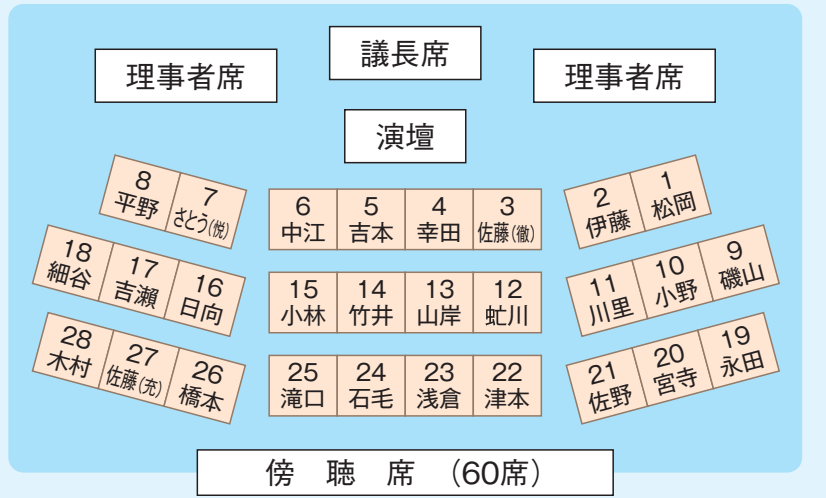
○佐藤 充 吉瀬恵美子 木村まゆみ
細谷 正

《無会派》

緑の党こだいら（1人）

橋本 久雄

議場議席図



請願・陳情

6月定例会では請願4件を新たに受理し、2件を採択、2件を継続審査しました。陳情は8件を受理し、全議員及び執行機関に陳情文書表を配付しました。

採択した請願の請願事項及び継続審査となった請願は次のとおりです。なお意見書の提出を求める請願は意見書欄に要旨を掲載しています。

花小金井一丁目4番のマンション開発計画について

良好な住環境や安全性を確保するため、住民と開発事業者とが十分に協議を行い、小平市都市計画マスタープランや小平市開発事業における手続及び基準等に関する条例等が目指すまちづくりを行うよう、市として引き続き助言等を行ってください。

請願者 小平市花小金井一丁目 はなこ・住と景観を守る会
中島 宏子 外5人

閉会中継続審査の請願一覧

環境建設委員会

請願第3号

原発に依存しないエネルギー政策へ転換を求める意見書の提出について

請願第4号

小平市立中央公園横の樹林地全体を市民が利用できるようにすることについて

意見書

6月定例会では3件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。(要旨)

意見書とは、地方公共団体の公共の利益に関することについて議会としての意思を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。

(地方自治法第99条)

オスプレイの横田基地配備計画の撤回を求める意見書

本年5月12日、日米両政府は米空軍の垂直離着陸輸送機C-27オスプレイを横田基地に配備することを発表しました。

その直後の5月18日にハワイ

今国会に提出された安全保障法制関連法案について議論を尽くすよう求める意見書

安倍首相は、4月末に訪米した際、米議会で演説し「この夏まで」に国際平和支援法案及び

内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣あて

州のベローズ空軍基地で、垂直離着陸輸送機M-22オスプレイ1機が着陸に失敗し、死亡者及び複数の負傷者が出る事故が発生したとの報道があり、市民の不安がさらに広がっています。

よって本市議会は、垂直離着陸輸送機C-27オスプレイを横田基地に配備する計画の撤回を求めるとともに、関係行政庁に対し、米国政府にこのことを強く求めるよう要請します。

内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣あて

議会日誌

1月

- 23日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会
- 27日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会第3委員会
大阪府泉大津市議会議員視察来庁（議会改革、議会基本条例施行後の議会運営について）
- 29日 東京都後期高齢者医療広域連合議会

2月

- 2日 総務委員会
三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会
野火止用水保全対策協議会
生活文教委員会（市内視察）
厚生委員会（市内視察）
建設委員会（国分寺市視察）
全員協議会
市議会議員研修会
- 10日 東京都市議会議員研修会
東京都十一市競輪事業組合協議会
東京都四市競艇事業組合協議会
- 12日 荒川区・あきる野市・神奈川県逗子市議会議員視察来庁（小平市のコミュニティクシ事業、なかまちテラスについて）
- 13日 湖南衛生組合議会
多摩六都科学館組合議会
- 16日 幹事長会議
宮崎県高千穂町議会議員視察来庁（議会改革（議会活性化等）、議会報告会について）
小平・村山・大和衛生組合議会
議会運営委員会
東京たま広域資源循環組合議会
多摩北部都市広域行政圏協議会審議会
- 23日 昭和病院企業団議会
- 24日 3月定例会初日
- 25日 3月定例会2日目（一般質問）
- 26日 3月定例会3日目（一般質問）
- 27日 3月定例会4日目（一般質問）

3月

- 2日 代表質問
- 3日 一般会計予算特別委員会
- 4日 一般会計予算特別委員会
- 5日 一般会計予算特別委員会
- 6日 特別会計予算特別委員会
- 9日 総務委員会
- 10日 生活文教委員会
- 11日 厚生委員会
- 12日 建設委員会
- 18日 幹事長会議
- 19日 議会運営委員会
- 24日 3月定例会最終日
議会報編集委員会

1月21日～7月21日 本会議、委員会、諸会議など

4月

- 14日 議会報編集委員会
- 15日 島根県浜田市議会視察来庁（議会報告会について）
- 30日 世話人会議

5月

- 7日 幹事長会議
- 14日 幹事長会議
- 15日 新議員研修会（19日まで）
- 20日 幹事長会議
- 22日 5月臨時会
東京都三多摩地区消防運営協議会
- 29日 三多摩上下水及び道路建設促進協議会総会

6月

- 1日 幹事長会議
- 4日 議会運営委員会
- 9日 6月定例会初日
- 10日 6月定例会2日目（一般質問）
- 11日 6月定例会3日目（一般質問）
- 12日 6月定例会4日目（一般質問）
- 15日 広聴広報特別委員会
- 16日 総務委員会
- 17日 生活文教委員会
- 18日 厚生委員会
- 19日 環境建設委員会
- 22日 にぎわいまちづくり調査特別委員会
- 23日 公共施設マネジメント調査特別委員会
- 24日 幹事長会議
- 25日 議会運営委員会
- 26日 小平市都市計画マスタープラン全体構想特別委員会
6月定例会最終日
広聴広報特別委員会

7月

- 1日 大阪府茨木市議会議員視察来庁（小平市空き家等の適正な管理に関する条例について）
- 2日 小平・村山・大和衛生組合議会行政視察（静岡県磐田市、神奈川県平塚市 3日まで）
香川県坂出市議会議員視察来庁（市民協働事業フォローアップ支援事業について）
- 6日 野火止用水保全対策協議会
- 8日 多摩六都科学館組合議会臨時会
佐賀県伊万里市議会議員視察来庁（議会基本条例の制定、市民と議会の意見交換会について）
- 13日 東京都十一市競輪事業組合協議会
東京都四市競艇事業組合協議会
- 14日 広聴広報特別委員会
- 21日 湖南衛生組合議会臨時会

小平市非核都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。しかし、核軍備拡大競争及び通常兵器の軍備拡大競争は一段と激化し、世界各地で武力紛争が絶え間なく続き核戦争の脅威が迫っている。

我が国は、世界唯一の核被爆国であることにかんがみ、小平市議会は、すべての国の核兵器に反対し非核三原則を堅持し、人類永遠の平和のため努力することを決意し非核都市を宣言する。

昭和58年3月3日
小平市議会

※この宣言は、昭和58年3月定例会において議員から提案され全会一致で可決されたものです。

議場見学



《小学3年生》

- 5月26日 八小79人
- 5月29日 十五小83人
- 6月3日 二小77人
- 6月15日 九小93人
- 6月16日 学園東小58人
- 6月18日 鈴木小35人
- 6月19日 七小125人
- 6月19日 十一小101人

あとながき



本号から市議会だよりは広聴広報特別委員会での編集となり、新しいメンバーでのスタートとなりました。

市議会の活動について積極的にお知らせし、親しみやすい紙面となるよう努めてまいります。

お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。

〒187-18701 小平市小川町二丁目

1333番地

TEL 042 (346) 9566

FAX 042 (346) 9567